

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成23年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県緑化センター	所管課	森林環境部みどり自然課
所在地	山梨県甲斐市篠原7-1	設置年月日 (改築年月日等)	昭和49年4月 (昭和59年4月事務所新築移転)
管理方式	指定管理者(山梨県造園建設業協同組合、平成21年4月1日～平成26年3月31日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県緑化センター設置及び管理条例		
設置目的	県環境緑化条例に定められた、環境緑化などの県の責務を推進するための機関であり、県民の緑化に関する知識と緑に親しむ機会を提供し、県民が行う緑化に関する活動を促進するため、環境緑化に関する知識・技術の普及、情報の提供、人材の育成等を行う。		
主な施設内容 (定員等)	①事務所棟(事務室、研修室他) ②樹木見本園 ③実習園 ④小庭園見本 ⑤郷土の森 ⑥駐車施設他		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 緑化センターの施設及び設備器具の維持保全に関する業務 ● 緑化に関する知識の提供のための樹木の展示及び養成に関する業務 他に類を見ない285種類、18,416本の樹木の展示・解説を通じた『樹木学習の場』や、樹木や緑化見本など緑づくりの参考となる『緑化見本提供の場』の提供 ● 緑化に関する研修並びに緑化に関する技術の助言及び指導に関する業務 緑化相談や緑の教室等『緑化知識・技術を学ぶ学習・研修の場』や、学校・幼稚園研修会等『環境教育実施の場』の提供 ● その他知事が必要と認める業務 		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	なし
-------------------	----

3. 利用状況

単位:人、%

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (目標値)
利用者数	個人来園者	18,522	17,831	17,823	
	団体会園者	426	415	320	
	運営事業参加者数	2,320	2,566	2,773	
	自主事業参加者数	13,540	14,233	7,738	
	利用者数合計	34,808	35,045	28,654	
	目標値	34,400	35,200	36,000	36,500
	目標値設定の考え方	平成19年度実績(33,801人)から平成21年度目標を34,400人とし、以降25年度まで毎年2%程度の増加を目標とした。			
対21年度比	100.0%	100.7%	82.3%	104.9%	

4. 収支状況

単位:円、%

		平成22年度	平成23年度 (計画値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (計画値)
収入	施設利用料	0	0	0	0
	指定管理者委託料	48,054,000	48,054,000	48,054,000	48,054,000
	その他	0	0	0	0
	収入合計(A)	48,054,000	48,054,000	48,054,000	48,054,000
支出	人件費	25,643,412	25,700,000	23,281,339	21,600,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	22,049,694	22,354,000	23,480,194	26,454,000
	(うち外部委託費)(B)	(9,208,500)	(8,200,000)	(8,337,000)	(8,500,000)
	支出合計(C)	47,693,106	48,054,000	46,761,533	48,054,000
収支差額(A-C)		360,894	0	1,292,467	0
外部委託比率(B÷C)		19.3%	17.1%	17.8%	17.7%
利用者一人当りの経費		1,371	1,365	1,677	1,317

※直営の年度は、県の収支を記入し、指定管理者施設の年度は、指定管理者の収支を記入する。
 ※利用者1人当りの経費の算定式は、直営(H〇～〇年):(支出-収入)÷利用者数、指定管理者(H〇～):指定管理者委託料÷利用者数。

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成23年4月～平成24年3月 実施方法:来園者へのアンケート 回答者数:①一般721人 ②緑の教室725人 ③緑サポーター8人 ④自主事業574人 全体2,028人
-------	---

単位: %

調査項目	大変満足	満足	まあまあ	不満足
①一般来園者	26.6%	63.0%	10.3%	0.1%
②緑の教室	53.2%	42.8%	3.9%	0.1%
③緑サポーター養成研修	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
④自主事業	47.7%	45.1%	6.8%	0.4%
全体	42.1%	50.7%	7.0%	0.2%

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	「緑化センターとして永続されることを希望します。」、「緑化相談助かりました。」、「緑の教室に実習があるので良いと思います。」、「講義の時に実物(枝)で説明されたのが良かった。」、「剪定の仕方がわかりやすかった。」、「樹木見本の視察に来たが、県教のカモンカ生息調査に役立ちます。」、「子どもたちがとても楽しく参加できてよかったです。また参加したいです。」、「初めての緑化センターでした。また来て園内を見てみたいと思いました。」、「イベントをたくさん行っているの、県民に利用してもらえていると思います。」、「緑の教室は開催数を増やして平日にも開催して欲しい。」、等数々の意見が寄せられた。
利用者の意見への対応	緑の教室に関しては、平成24年度は講座数を24から34に増やした。(内7回は、土日祝日以外の平日開催。) 今後もアンケートにより県民の皆様の意見を敏感に捉え対応し、みどりの拠点としての緑化センターを価値ある施設にしていきたいと思います。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	「山梨県緑化センター管理業務仕様書」に基づき適正な管理を行った。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。
運営業務	緑の教室への年間参加者数は893名、緑化相談件数は1,017件、いずれも平成18年度以降最高値を記録した。また学校や各種団体等の緑に関する研修会も、延べ28回開催し1,145名の参加があった。今後も緑に関する知識習得や技術向上を目的とする研修会を多く開催し利用促進を図ってきたい。	計画どおり適正に実施されている。緑化相談が266件(35%)増の1,017件、緑の教室が97名(12%)増の893名となったことは、PR活動や内容の充実が功を奏した結果と言え、評価できる。引き続き、工夫を重ね、利用者の増加に繋げるとともに、緑化推進の拠点としてさらに県民に親しまれる施設となるようご尽力いただきたい。
自主事業	来園者数7,000人を見込んでいた、春の一大イベント「やまなしグリーンフェア」を東日本大震災の直後で自粛、中止としたが、秋の「緑の感謝祭」は悪天候にも係らず盛況であった。その他エビネ蘭・羽蝶蘭・盆栽・洋ラン・春蘭の展示会を開催した。その他、写真コンテスト・寄せ植えコンテスト・富士山の日制定記念講演会を開催し、多くの来園者を得た。また、イベント毎に緑化相談コーナーを設け、緑化の推進・啓蒙に寄与していると評価している。	計画どおり適切に実施されている。グリーンフェアは震災の影響により中止になったが、「富士山の日」制定記念イベントを開催するなど、積極的に自主事業を企画実施された点は評価できる。今後も、多くの県民が緑に親しめる内容を企画立案し、緑化センターの魅力さをさらに高めることを期待する。
利用状況	指定管理者となった平成18年度以降、毎年来園者増加の傾向が続いていたが、平成23年度は「やまなしグリーンフェア」を上記により中止としたことで、初めて前年度の来園者数を下回った。しかしアンケート結果により、来園者の25%が「初めての来園」と回答したように、徐々に緑化センターの存在を県民の皆様にかけてもらえる方向に進んでいる。「緑化センターでなければならないこと。」「新企画の立案」等、県民の皆様へアピールし来園者数増加を図ってきたい。	7,000人の来園を見込んでいたグリーンフェアが、東日本大震災の影響により中止となり、来園者数はその分落ち込むこととなったが、主催事業などにおいてPR活動や内容を充実させた効果により、その影響をカバーできたことは評価できる。平成24年度はさらなる工夫を重ね、来園者の増加を期待する。
収支状況	緑化のプロ集団である造園組合員の参画により、効率的な維持管理・運営業務及び自主事業等が実施できた。	工夫を重ね、さらなる効率化を図ることを期待する。
利用者満足度	全体的な満足度(大変満足+満足)92.8%と高い評価を得ていることは、指定管理を受けている側として、大きな励みとなっている。反面、満足でない方の意見を十分参考にし、改善を図っていくことが必要と考える。	ほとんどの項目で90%以上の満足度を得ており、特に緑の教室の97%は評価できる。今後も、利用者の満足度を高める工夫に期待する。
運営目標の達成状況	来園者数は減少したが、東日本大震災により、7,000人の来園を見込んでいたグリーンフェアがやむを得ず中止となった影響が大きく、その分を差し引けば、目標は概ね達成されたと言える。28,654+7,000=35,654人	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設管理・運営業務・自主事業等について、条例、協定及び提案等に基づき概ね適正に履行した。また、アンケート調査結果を分析し、利用者ニーズの把握に努め、緑の教室などの参加率及び利用者満足度の向上に努めた。平成24年度は緑の教室の実施回数増加及び人気講座の平日・休日の2回開催をはじめ、事業の内容やPRの充実など、緑化センターの魅力さを高めるための新たな試みにより、さらなる来園者の増加に努めること。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	緑化センターの魅力さをさらに高めるため、多くの県民が緑に親しめる内容の企画立案、創意工夫等を期待しているところであるが、来園者アンケートの分析、県民ニーズの把握等を適確に行い、上記記載のとおり、事業の内容充実等に努めている。	

7. 管理体制(組織図)

